

社会科学研究所報告

I 社会科学研究所創立35周年記念行事

1988年11月5日(土)、学内・学外の参加者あわせて142名が集い、本研究所創立35周年を記念するシンポジウムとレセプションが行われた。三鷹市との共催で、3人の報告者をお招きして、「国際化時代における大学と地域社会」(“University and the Local Community in the New International Age”)をテーマに、それぞれの御立場から論じていただいた。

シンポジウム開催にあたって、社会科学研究所紹介および記念行事当日案内の2種類のパンフレットを作成・配布した。

なお、シンポジウムの報告書は、本研究所編集『国際化時代における大学と地域社会』(1989年3月31日発行)として刊行した。

創立35周年記念行事概要

共 催：国際基督教大学社会科学研究所

三鷹市

日 時：1988年11月5日(土) 13:30~18:30

◎シンポジウム「国際化時代における大学と地域社会」

場 所：国際基督教大学本館1階116号教室

〈開会〉 司 会：新津晃一（社会科学研究所所長）

〈報告〉 1. タルシシオ・G. デラ・セントラ氏（国際連合大学学長
付特別補佐官）

「地域問題に関する地球的視座」

2. 坂本貞雄氏（三鷹市長）

「三鷹市における国際化への課題」

3. 渡辺保男氏 (国際基督教大学学長)

「国際化時代における大学と地域社会 — 特にICUを中心として — 」

〈討論〉 司 会：木村憲二 (国際基督教大学経済学教授)

◎レセプション

場 所：本館2階ラウンジ

司 会：M.ウィリアム・スティール (国際基督教大学歴史学準教授)

II 講演会

○定例講演会

1988年11月4日 Kramol Tongdhamachart 氏

チュラロンコン大学教授

“Thailand’s New Government and Foreign Policy”

1988年11月11日 Wolfgang Mendl 氏

キングズカレッジ・ロンドン大学教授

“Reflections on War Studies and the Problem of Peace”

1988年12月9日 Terence G. McGee 氏

ブリティッシュ・コロンビア大学教授

“The Mega-Urban Regions of Developing Asia: The Emergence of a New Form of Urbanization”

1988年12月19日 Busaba Kunasirin 氏 チュラロンコン大学準教授

“Thailand’s Industrial Strategy and Japanese Investment”

1989年1月23日 蔵持不三也氏 早稲田大学助教授

「民衆図像学へのいざない — P. ブリュエール

『子供の遊戯』をめぐって—

- 1989年2月13日 Robert Lubic氏 アメリカン大学教授
“Coming Trade War”
- 1989年4月3日 Alberto Hollis氏 ローザンヌ大学教授
“Test of Exogeneity of Subsets of Endogenous
Variables”
- 1989年4月18日 辻井博氏 京都大学助教授
「世界コメ戦争と日本のコメ政策」
- 1989年5月16日 Erwin K. Scheuch氏 ケルン大学教授
“Present Status of German Sociology”
- 1989年6月12日 Kanoksak Kaewthep氏
チュラロンコン大学準教授（本研究所研究員）
“Japanese Aid to Thailand: Some Lessons”
- 1989年6月16日 Prasert Yamklinfung氏
筑波大学客員教授（元チュラロンコン大学教授）
“Socio-Economic Change and Political Development in Thailand”
- 特別講演シリーズ——「公」と「私」の諸問題
- 1988年10月13日 第7回 Sheldon S. Wolin氏
元プリンストン大学教授
“A Reflection on ‘Public’ and ‘Private’: Collective Identity and Constitutional Power”
- 1989年1月20日 第8回 M. William Steele氏
本学社会科学科準教授
“‘Public’ and ‘Private’ in Bakumatsu Political Thought: The Case of Katsu Kaishū”

III 人事

1. 顧問

- 長 清子 本学名誉教授 日本近代思想史 1988年4月～
- 一瀬智司 本学名誉教授 公益事業論 1988年4月～

2. 所員(新任)

- Roger W. Buckley
本学準教授 日米関係史 1988年9月～
- 慎 斗範 本学教授 行政学 1988年9月～
- 安積仰也 本学教授 組織社会学 1989年1月～
- 佐藤知子 本学準教授 国際コミュニケーション論
1989年4月～
- 田中かず子 本学助教授 比較社会学 1989年4月～
- 植田隆子 本学助教授 国際関係論 1989年4月～

3. 客員所員

- Robert B. Lubic
本学客員教授 政治学 1989年4月～1989年6月
- J. Makarczyk
本学客員教授 国際法・国際機構論
1989年4月～1989年6月

4. 兼任所員

- 源 了圓 本学大学院教授 日本思想史 1986年4月～
- G. H. Schepers
本学教授 ドイツ文学・ドイツ文化
1988年4月～
- 近藤 健 本学教授 国際報道論 1989年4月～

5. 研究員・研究助手

- 本研究所研究員秋野晃司氏の女子栄養大学助教授就任に伴い、辻山ゆき子氏(社会学)が1989年4月1日付で研究助手に任ぜられた。

- 本研究所研究助手上尾信也氏の桐朋学園大学短期大学部専任講師就任に伴い、安達かおり氏（歴史学）が1989年4月1日付で研究助手に任ぜられた。
- 本研究所研究助手金田充弘氏のペンシルヴェニア大学大学院留学に伴い、鈴木時男氏（経済学）が1989年9月1日付で研究員に任ぜられた。
- 新たに、堀江訓氏（国際法）が1989年9月1日付で本研究所研究助手に任ぜられた。

IV Working Paper Series 刊行開始

1988年12月から、新企画 Working Paper Series の刊行が開始された。

Working Paper Series 刊行リスト*

[1988年12月～1989年6月]

*分類・番号・執筆者・発行年月・表題・備考の順で記載。

- HB 001 Kenji Kimura (木村憲二) [1988年12月]
“Market and Nonmarket Failure”
- HM 002 栗田宣義 [1989年1月]
「変動仮説から構造仮説へ：現代社会運動論の理論的革新」
- HB 003 Kiyoshi Kojima (小島 清) [1989年2月]
“The Multiple Key Currency Gold Exchange Standard:
A Proposal”
- HB 004 Busaba Kunasirin [1989年3月]*
“Thailand Industrial Development Strategies and
Japanese Investment”

*このペーパーは、1988年12月19日に同名の演題で行われ

た本研究所定例講演会での報告をまとめたものである。

HB 005 中内恒夫〔1989年3月〕

「中国の経済発展における太平洋貿易の意義」

V 三鷹まちづくり研究会

1988年2月1日付で発足した本研究所と三鷹市の共同プロジェクト「三鷹まちづくり研究会」は、国際基督教大学本館259号室に「三鷹まちづくり研究室」を設置し、3つの分科会がそれぞれ活発な活動を開始した。

同研究会の会長に渡辺保男氏（本学学長）、副会長に安田養次郎氏（三鷹市役所助役）が就任されている。本研究所の所長は、研究会の運営委員会幹事を兼任し、共同プロジェクトも本研究所所員・学外学識経験者・三鷹市職員の参加を得て、充実しつつある。

なお上記「三鷹まちづくり研究室」の事務は、研究会関連事務を担当した田中かず子氏（現在本学社会学助教授）に代わって、1989年2月から二羽絹世氏が担当している。

1989年3月、研究会発足1周年を迎え、各分科会は下記の通り「中間報告書」を発表した。

中間報告書一覧

1. 第1分科会：研究テーマ「まちづくりビジョン」

〔中間報告書〕

『三鷹まちづくりビジョン——21世紀への可能性と挑戦——』

（第1分科会リーダー：鈴木典比古 本学経営学準教授）

2. 第2分科会：研究テーマ「コミュニティのあり方」

〔中間報告書〕

『コミュニティの理念と現実——三鷹・日本・世界——』

(第2分科会リーダー：西尾 隆 本学行政学助教授)

3. 第3分科会：研究テーマ「高齢化社会に向けた総合的なあり方」

[中間報告書]

『新しい高齢化社会像を求めて』

(第3分科会リーダー：村上雅子 本学経済学教授)

これらの成果を踏まえて、1989年9月、研究会の最終報告書『三鷹まちづくりへの提言』(1989年9月発行)がまとめられた。